

農業塾第9講 秋冬野菜の播種②と定植後の管理

今回は、秋冬野菜の播種②と定植後の管理について講習会を行いました。今回の秋冬野菜は、ユリ科とマメ科。ユリ科野菜の代表は玉ねぎ・にんにく・にら・ねぎなど、マメ科はそらまめ・えんどう・いんげんなど、どれも栄養価が高く保存性の高いものが多いようです。



ユリ科野菜

- ユリ科野菜…タマネギ、ニンニク、ニラ、ネギなど
- ・タマネギ
原産地は中央アジアと推定されている
日本では江戸時代に伝わったが、観賞用。食用としては1871年(明治4年)頃
- ・ニンニク
同じく中央アジアと推定。
日本には8世紀頃には伝わっていたと見られており、薬や、疲労回復に効く食べ物として広まった

マメの種類



野菜としては、利用部位によって次の2種類に分かれます。
未成熟の果実を利用するもの サヤインゲン、サヤエンドウなど
種子を利用するもの エダマメ、ソラマメなど



さっそく圃場にて実習。2班に分かれて種まきと管理作業を行いました。

写真(左中)は、玉ねぎの種子をセルトレーに播種している様子。小さい種を一粒ずつ丁寧に播種していただきました。

写真(左下)は、にんにくの播種の様子。JA指導員が植えつける間隔・深さなどの説明をしました。

写真(右下)は、草取り・中耕・土入れの様子。中腰の姿勢での作業が多く、大変な作業ですが、塾生がお互い協力し作業を行いました。

